

津ライスニュース 平成27年産第1報 (通算第96号)

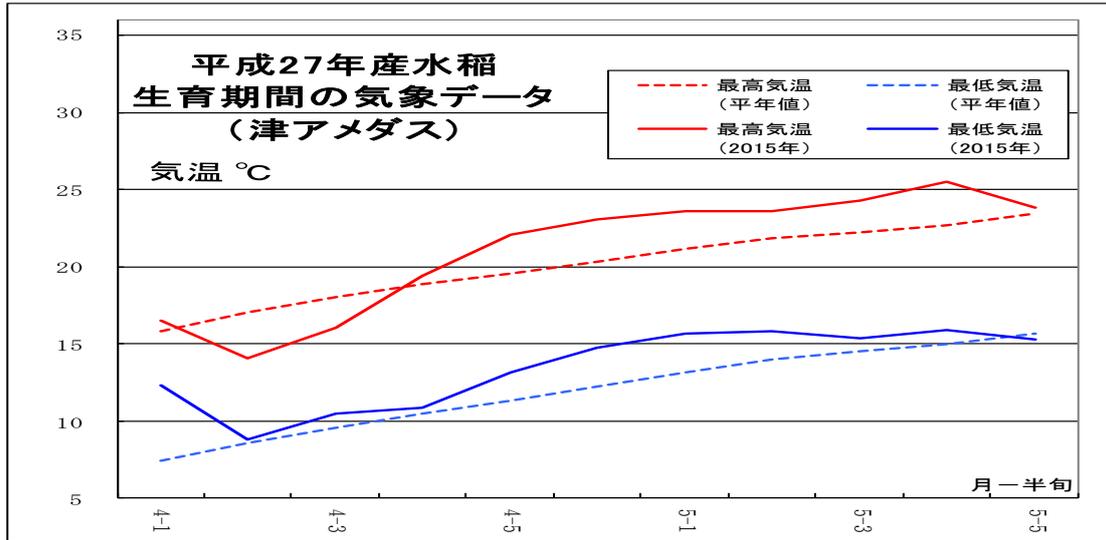
平成27年5月25日

津地域農業改良普及センター 電話:059-223-5121

気象経過

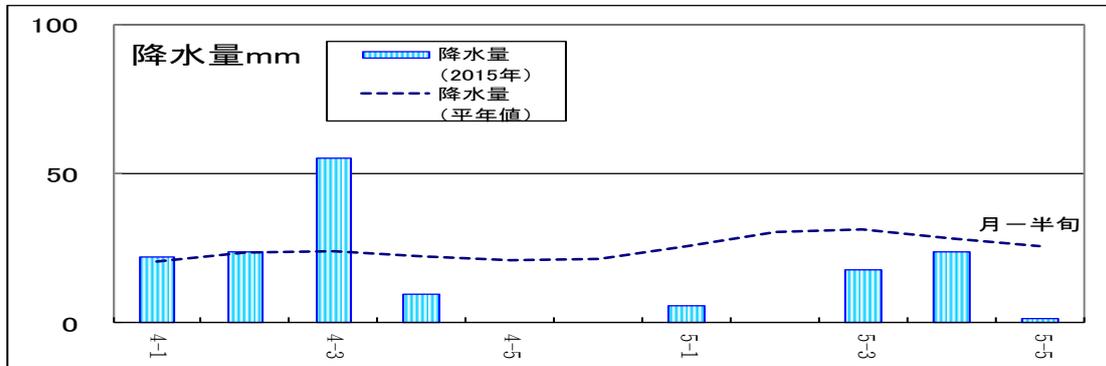
<気温>

4月中旬以降、気温は高めに推移しています。



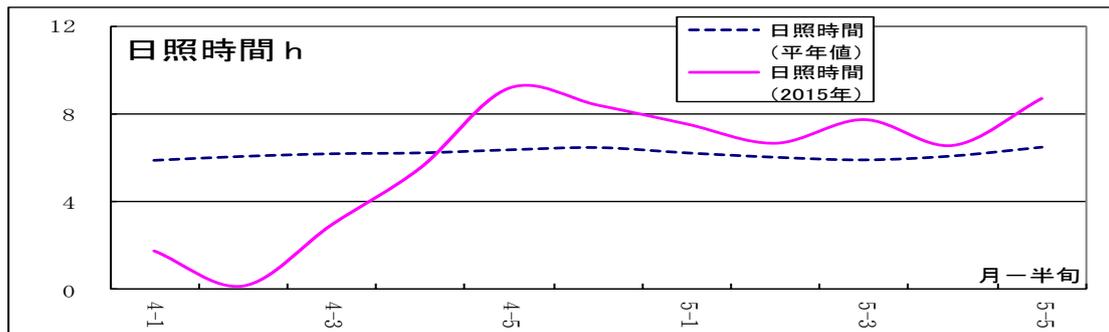
<降水量>

4月中旬に一時雨が多かったものの、その後降水量は少なめです。



<日照時間>

4月中旬以降、晴れた日が多く、日照時間も多めです。



生育の概況

本年は3月以降、雨の日が多かったことから、用水は確保されていて、代かき作業等は順調でした。3月中旬から4月上旬の高温、また、4月上旬の日照不足により、苗丈の長い苗が多く見受けられました。

津管内の田植え作業は、植え始めがやや遅い傾向が見られましたが、概ね4月下旬から5月上旬にかけて、早植え栽培の田植作業が順調に行われました。

本田での生育状況は、例年見られるような低温・強風による植え痛みがほとんど無く、初期生育も概ね順調です。ただし、日照時間が多く雨が少ない天候なので、水の出入りが少ないほ場では藻類がやや多く発生しました。

津管内の生育基準田でも生育は順調で、前年同時期と比較すると葉齢の進展はやや早く、草丈・茎数もやや多い状況となっています。

病害虫の発生状況と対策

<いもち病>

いもち病発生の適温(25~28℃)となる時期を迎えています。現時点では本田での発生はありませんが、今後、雨の日が続き、高温多湿で感染に好適な条件が揃うと、本田でのいもち病発生が懸念されます。

- ・補植用の苗は早めにほ場外へ取り除きましょう。
- ・いもちの初発の早期発見と適期防除に努めましょう。

<害虫(イネミズゾウムシ、イネゾウムシ、イネドロオイムシ)>

本年は、4月以降の高温の影響によりイネミズゾウムシの発生がやや早く、発生量も少々目立つ状況です。山沿いや常発地では今後、害虫の発生増加も予想されますので注意してください。

今後の栽培管理

<中干し>

中干し開始は移植後40日頃で、葉色が濃く茎数が確保できたほ場(コシヒカリで400本/m²、20本/株程度となった頃)から行います。

中干しは用水を入れ替えるようなつもりで行います。また、同じ水を常時張りっぱなしにするのは、根痛みの原因になります。

本年は、6月に入ったら、ほとんどのほ場で中干し作業が行えると思われませんが、中干しの開始時期と強弱については、水稻の生育状況(=茎数の状況)に合わせて実施してください。

- * **茎数が多い場合** →中干しを早い目に、やや強く行ってください。
ただし、田面が大きくひび割れるような中干しは、根を切断し生育を強く抑制しますので避けてください。
- * **茎数が少ない場合** →中干しを遅い目に、弱く行ってください。

本年は初期生育が順調で、現時点で茎数は多めのほ場が多くなっています。今後、例年より早く(6月上中順にかけて)、茎数の増加や葉色が濃くなる時期を迎えると予想されます。

<除草>

本年は生育が順調で、降雨の影響による除草剤の効果不足は少ないと思われませんが、適期防除を逃したほ場や後発のヒエや広葉雑草の発生があるほ場では、早めに後期剤を散布しましょう。(ただし、使用時期＝特に収穫前日数に注意してください)

クリンチャーバス ME 液剤・・・ホタルイ、ノビエ等

クリンチャー1キロ・・・ノビエ5葉期まで、クリンチャーEW・・・ノビエ6葉期まで

(クリンチャーはキシウスズメノヒエにも効果あり)

バサグラン粒・液・・・ホタルイ等

ハイカット1キロ粒・・・ノビエ3.5葉期まで、ホタルイ、クログワイ、コウキヤガラ等